

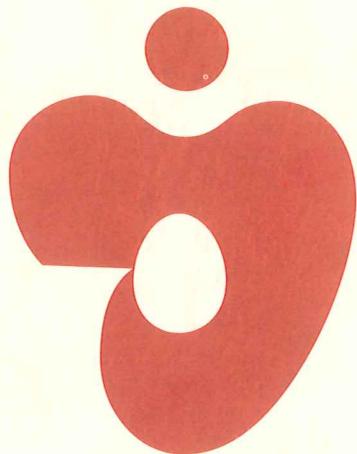
ISSN 1344-7505

九州看護福祉大学紀要

The Journal of Kyushu University of Nursing and Social Welfare

Vol. 8 No. 1

2006



九州看護福祉大学
Kyushu University of Nursing and Social Welfare

卷頭言

九州看護福祉大学紀要（第8巻）発刊によせて

高齢化が著しい地方に位置する本大学と地域社会が連携を深め、高齢者の看護・介護・福祉の実践・研究・教育を総合的に展開してゆくことは、大学と地域の両方にとって有意義なことであると思われます。まず本学教員と臨地実習先の指導者とがお互いの得意とするところで協力し合い、専門分野の研究を深め、後輩の教育に活かしていくことは、地域社会への貢献になるとを考えます。本学紀要を、臨地実習先の指導者の方にも大いに利用して頂き、本学教員との共同研究の発表の場として活用して頂けたら思います。

第8巻の特徴は、依頼原稿を掲載していることです。二塚信学長が就任されましたので【展望】“高齢社会と地域医療に於ける大学の役割”を特別寄稿していただきました。これに伴いまして、地域の実践現場で “高齢社会への先駆的試み”をなさっている方へ、その領域に関する【総説】を3編お願い致しました。西勝英・本学非常勤講師には“排便機能障害改善へ向けてのアプローチ－知られていない高齢者の悩み－”、松永美根子・本学共同研究者には“身体拘束のない個別ケアを実現するために－ユニットケアの取り組みから－”、そして牛島俊晶・本学特別講師には“介護予防：高齢者の筋力向上の重要性－有明地域における高齢者体力アップ体操の普及事業から－”という題目で、各自の実践内容を含め学術的に解説していただきました。ご協力ありがとうございました。これらの企画内容が読者の知的興味を喚起し、高齢者の看護・介護・福祉の実践・研究・教育に還元されれば幸いです。

最後になりましたが、九州看護福祉大学紀要第8巻の編集出版に御協力いただきました関係者各位に、深く感謝いたします。本大学教員から投稿されました論文は、第7巻と同様に査読審査を経て掲載されております。投稿者および査読にご尽力いただきました各位、誠にありがとうございました。本学紀要が、大学本来の研究活動を推進させ、学部学生・大学院生の教育および卒後教育に反映されることを期待いたします。

平成18年3月吉日

九州看護福祉大学紀要編集委員会

委員長 橋口マキエ

目 次

巻頭言 九州看護福祉大学紀要（第8巻）発刊によせて 樋口 マキエ 1

【展望】 学長就任特別寄稿

高齢社会と地域医療における大学の役割 二塚 信 5

【総説】 特別企画：“高齢社会への先駆的試み”

排便機能障害改善へ向けてのアプローチ —知られていない高齢者の悩み— 西 勝英 11

身体拘束のない個別ケアを実現するために —ユニットケアの取り組みから— 松永 美根子 23

介護予防：高齢者の筋力向上の重要性—有明地域における高齢者体力アップ体操の普及事業から— 牛島 俊晶 37

1. 原著論文

【原著】

高齢オストメイトの支援に関する研究 松本葉子、山内栄子、石原和子、坊田友子、
本田直美、黒田豊子、高野正博 47

麻薬性鎮痛薬使用に関する看護職者の認識

—WHO方式がん疼痛治療法を基に— 野上 龍太郎、樋口 マキエ 59

看護系大学生の職業的な能力（Competence）の自己評価

—臨地実習前・後および就職後初期における比較検討— 立石 和子、吉本 圭一 69

【研究ノート】

成人期に発達障害を告知されたケースのライフステージからの検討

—語りと手記から社会性の獲得を考える— 水間 宗幸 83

「障害者のキャリア形成に関する調査」結果に基づく年代間比較 吉光 清 93

2. 報告

【総説】

高齢者施設における転倒予防に関する研究動向 山本恵子、宮川健治、野々佳子、
一職種間協働に焦点をあてた研究を中心に— 原口輝美、松永あけみ 103

【実践報告】

精神看護学におけるグループワークの学習効果に関する検討

—研究的思考と研究のスキルの基礎的育成にむけての試み— 前田 由紀子、増田 安代 113

【その他】

地域と学校で取り組む性教育 —「つなしの会」の地域活動を通して— 増田 安代 125

3. 研究活動

平成17年度九州看護福祉大学教員 研究活動報告一覧 135

平成17年度九州看護福祉大学大学院 看護福祉学研究科看護学専攻 修士論文一覧 163

九州看護福祉大学紀要 投稿内規および執筆要領 164

Contents 165

編集後記 167

The Journal of Kyushu University of Nursing and Social Welfare

Vol.8, No.1 March 2006

[View]

Roles of Kyushu University of Nursing and Social Welfare in the community health
of aged society.

Makoto FUTATSUKA ----- 5

[Mini Reviews]

Approach to Improvement of Dysfunction of Defecation

- Disturbed but Uncovered Problems of Senile Peoples -

Katsuhide NISHI ----- 11

Toward Individual Care without Physical Restraint

- Observation through the Unit Care Practice -

Mineko MATSUNAGA ----- 23

Nursing Care Prevention and Importance of Muscular Strengthening of the Elderly

- Observation through Promoting the Fitness Workout for the Elderly in Ariake Area -

Toshiaki USHIJIMA ----- 37

[Original Articles]

Study on Support for Ageing Ostomates · Needs of self-Care with Advancing Age of Ostomates ·

Yoko MATSUMOTO, E. YAMAUCHI, K. ISHIHARA,
T. BODA, N. HONDA, T. KURODA, M. TAKANO ----- 47

Nurses' Knowledge of Opioid Analgesics and WHO Cancer Pain Relief Guidelines in Japan.

Ryutaro NOGAMI , Makie HIGUCHI ----- 59

Self-Evaluation of Professional Competence of Nursing College Students.

- Before and after the Clinical Nursing Training and Immediately after Employment -

Kazuko TATEISHI, Keiichi YOSHIMOTO ----- 69

[Study Notes]

A Case Study of How an Undiagnosed Asperger Syndrome Adult Achieved Significant Social Success.

Muneyuki MIZUMA ----- 83

Comparison among Three Age Groups Based on the Results from " Research on Career
Development of Disabled Workers "

Kiyoshi YOSHIMITSU ----- 93

[Review]

The Research Trend about the Fall Prevention in an Elderly-People Institution

- Focus on Collaboration between Occupational Descriptions -

Keiko YAMAMOTO, Kenji MIYAGAWA, Yoshiko NONO,

Terumi HARAGUCHI, Akemi MATSUNAGA

-----103

[Report]

Study on Learning Effect of Group Works in Psychiatric Nursing

- Toward Fostering Basic Academic Thinking and Skills -

Yukiko MAEDA, Yasuyo MASUDA -----113

[Other]

Sex Education at School and in Communities

- Through the Community Program at " *tsunashi-no-kai* " -

Yasuyo MASUDA -----125

編集後記

本号には、初めての試みとして、学長就任特別寄稿【展望】と依頼原稿による【総説】3論文を編集いたしました。本学教員の投稿論文は、査読を経て【原著】【研究ノート】【総説】【実践報告】【その他】の8編を掲載いたしました。投稿から印刷までの時間を短縮する上で、論文の査読と修正に時間がかかりすぎることがネックになっています。投稿者には投稿内規および執筆要領の遵守を、査読者には迅速な審査と忌憚のない適切なご意見を、それに対し投稿者は迅速な論文修正をお願い致します。修正に時間がかかりすぎる場合は、今後、次巻に回すこともあることをお断りしておきます。今回、査読に御協力頂きました下記の教員各位に、編集委員会から篤く御礼申し上げます。

平成18年3月には（修士課程）看護福祉学研究科・看護学専攻の第二期生14名が卒業されました。4月には新設リハビリテーション学科に学部学生が入学し、学内は更にぎやかになりました。本学紀要が、修士課程の研究や共同研究の成果を発表する場となり、後輩の教育に反映されることを期待いたします。次巻への本学教員の多くの投稿を、特に若い研究者の投稿をお待ちしています。

（紀要編集委員一同）

平成18年3月

第8巻紀要編集委員会・委員長 樋口 マキエ（看護）
委員 益満 孝一（社福）
委員 永田 俊明（社福）
委員 久佐賀 真理（看護）

九州看護福祉大学・平成17年度・査読者一覧（50音順）

赤星 まゆみ 教授（社福）	熱田 一信 教授（看護）
新居 富士美 講師（看護）	安藤 学 助教授（社福）
石原 和子 教授（看護）	上石 隆雄 助教授（社福）
岡本 陽子 教授（看護）	梶原 和子 教授（看護）
官澤 文彦 教授（看護）	近藤 原理 教授（社福）
柴田 恵子 助教授（看護）	生野 繁子 教授（看護）
田中 美加 講師（看護）	徳永 淳也 助教授（社福）
永田 俊明 助教授（社福）	平岡 武久 教授（看護）
森 みづえ 講師（看護）	吉光 清 教授（社福）

九州看護福祉大学紀要 第8巻 第1号

The Journal of Kyushu University of Nursing and Social Welfare Vol. 8 No. 1

2006年3月

発行者 九州看護福祉大学

Kyushu University of Nursing and Social Welfare

〒865-0062

熊本県玉名市富尾 888 番地

888 Tomio, Tamana-shi,

Kumamoto 865-0062, Japan.

TEL 0968(75)1800

FAX 0968(75)1811

紀要編集委員代表 樋口マキエ

印刷所 株式会社 ベストパッケージ

〒864-0025

熊本県荒尾市高浜字前 1825-20

TEL 0968(68)7710

FAX 0968(68)7713
